

# 254億円のめざすもの



「農業の近代化」と  
「県産業の工業化」  
「人づくり」をすすめる

昭和三十七年度予算は、総額二百五十四億二千八百一十七万七千円ときまつた。

この新しい予算は、どのような基本方針で組まれたのか？

この予算は、豊かな郷土をきずくために、どう使われるのか？

まず、さきの三月定例県議会で、寺本知事がおこなつた、新年度予算の説明の一部を読んでみよう。

「本県財政が再建期間を無事完了し、自主財政に立ちもどつて以来一カ年が経過致しました。依然として、自主的財源が乏しいという憾みはありますが、県民各位のご理解とご協力の下に、本県財政も一応順調な歩調を示してまいりましたことは、まことに同慶の至りであります。この健全財政の基調を崩すことなく、しかも積極的に本県行政水準の向上に努力することが、明年度予算編成の基本であると確信いたします。時あたかも、農業の近代化については、今後その中心となるものと考えられる構造改善事業が実施の段階に移ろうとし、また県産業の工業化を促進するための基盤として、道路、港湾等の整備は極めて急を要する時であり、更に、激増する中学卒業者のための高校急増対策や、職業訓練機構の充実等も必要な時期であると考えます。以上のような事項を中心とし、次代を背負うべき児童の健全育成、低所得者の援護対策等を主とする社会福祉行政の拡充や、職員研修、機動力の充実を通じての行政効率の向上等をも併せて考慮し、国の本年度予算の拡充にも即応して、総額二百五十四億二千八百一十七万七千円の予算を編成したものであります。云々……」

37年度予算の  
あらまし

## 海 光

田尻 牧夫

阿蘇青し光あふるる麦を刈る

榎咲いて牧夫のシャツは日に乾く

ひとり来てウニ採り小島巡るなり

海光や繩かいくどり若布干す



### 内 容

□特集 二五四億円のめざすもの

俳句/海光……………田尻 牧夫・2

対談・県の台所/テレビ再録……………沢田一精・4

資料・才入・才出のはなし

解説・今年度の新規・重点事業をみる……………8

□暮しのコーナー

二つのものさし……………丸山 学・11

ハ工取り談義……………浜崎直哉・13

妻の座はまだ因習の中に……………木戸文子・14

交通事故をなくそう……………12

つゆ時の郵便……………12

くらしのメモ……………14

□話題 税金のはなし……………16

□資金対策

この資金で近代化を/農業近代化資金……………18

三度のメシも忘れて……………20

お金貸します/中小企業振興資金……………21

雇用促進融資制度……………22

表紙 栗崎 英男  
カセット  
カメラ 松本 信一